

●長崎県「チャンココ」

五島市立崎山中学校

中学2年生 入江義之（小鉦）

7月の上旬ころから、私達は、チャンココの練習を始めました。私は、初めて「鉦」をすることになりました。鉦には、大鉦と小鉦があり、私は、小鉦の担当になりました。青年団の方が教えてくださり、少しずつうまくできるようになりました。

また、お盆は、青年団の方々と町中の家々をまわり、鉦の修行をしました。

そして、迎えた本番は、とても緊張してしまいました。鉦のむきがあるか心配で何度も見直してしまいました。

しかし、うまく小鉦をすることができました。

みんなで大きな失敗もなくうまく踊れてよかったです。

中学2年生 片山利久（踊り）

僕は、初めて東京にいきました。僕達が踊った、チャンココは、7月の上旬から練習を始めました。チャンココの踊りの中で難しかったのは、何回も回転する所です。何度も練習をつみかさねていくうちに、うまく踊れるようになりました。そして東京では、特に踊りをそろえることに気をつけました。本番では、練習をした所が、うまく踊れました。僕達のチャンココを見てもらうことで、少しは五島の伝統的な踊りを知ってもらえたと思います。また、東京のような大きなステージで崎山のチャンココを踊り、多くの人に五島のことを知ってもらいたいです。

中学2年生 野瀬咲香（内容紹介発表）

私は、五島の事を紹介しました。最初の練習の時はあまり覚えておらずすらすらと読むことができませんでした。でも、練習をする内にだんだんすらすらと言えるようになりました。本番では、会場の方々が、分かりやすいように言うことができました。待っている間も、笑顔で、待つことができました。リハーサルの時にスタッフの皆さんが、優しく接して下さったので、緊張がほぐれました。ありがとうございました。

このイベントを通して、私は、日本には、いろいろな伝統文化があることが分かりました。小さい子どもから大人までのたくさんの人が伝統を守っていてすごいと思いました。私も、伝統を守っていけるように、五島の事や、崎山の事を広めていきたいです。

中学2年生 佐々野遥華（内容紹介発表）

私は、初めて東京に行きました。本番は、とってもきんちょうしました。でもみんなと話して、きんちょうがほぐれました。練習の時に、ゆっくり言うようにしたり、大きな声で練習したりして、それが本番で出来たので、うれしかったです。

お客さんが多くて驚きました。最初、みんなで「こんにちは！」と言うと、「こんにちは！」とみんなが言ってくれたので嬉しかったです。はく手も、たくさんしてくれて、とても楽しかったです。

全国のいろいろな県の伝統芸能を見たり、聞くことができよかったです。初めて見たおどりが多く、とても驚きました。ふくそうもかわいいのや、かっこいいの、きれいのなどとてもかわいかったです。東京に来て、発表したり、みんなのを見ることができて本当によかったです。

中学3年生 今道慧（踊り）

僕は、チャンココを東京で踊れた事がとても嬉しかったです。長崎の端の五島のチャンココなんて、知っている人は少ないだろう、と思っていたので、たくさんの人に披露する事が出来て、とても良かったです。

僕は、中学生になってから、伝統のチャンココを教わり、1年生の頃は、リズムがうまくとれずに失敗ばかりしていました。2年生で、どうにか踊れるようになってきて、3年生で、東京で踊れると聞いてとても嬉しかったです。夏休みに入ってから、毎日のように練習し、回転がたくさんある所でも、みんなでしっかり合わせて踊れるようになりました。本番では、一回も失敗せずに踊ることが出来たので良かったです。とても多くの人が出て、少し緊張したけれど、しっかり最後までうまくいったので、良かったです。とても良い経験が出来ました。

これからも、地域の伝統のチャンココを大切にしていきたいです。

中学3年生 小幡壮志（踊り）

私たちが東京にご招待いただきありがとうございました。私は「ちゃんこ」を中学一年生の時から踊り始めて1年生と2年生の頃は最初に皆で踊った「ざま」だけでしたが3年生になり「ざま」が終わり、5名だけで踊った「が」を踊り始めました。「が」というのはスピードが速く、回転が多く覚えられませんでした。しかし地域の方や友達から教えてもらい最初から最後まで踊れるようになりました。そして5人全員であわせて踊るとバラバラになってしまいました。合わせるために夏休みは毎日練習しました。その結果本番では皆息の合った踊りを披露することができました。たくさんのお客さん、大きなステージで踊ることができてとても良かったです。「チャンココ」は9月にある運動会でも踊ります。この経験をいかして東京で踊ったものよりも迫力のある「チャンココ」を披露できるように練習を頑張ります。ありがとうございました。

中学3年生 木下雄生（踊り）

この度は『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』九州・沖縄ブロックの代表として参加させていただきありがとうございました。僕は、チャンココを踊り、小さい

頃から見えていましたが、中学生になり実際に踊ってみると改めて、チャンココの難しさや、伝統芸能を次の世代に伝えなければならない大切さがとてもわかりました。

私たちは、中学校1年生の時から、今まで約2年間一生懸命、練習をしてきました。その結果が今回出たのだと思います。

踊らせていただいた日本青年館ホールはとてもきれいで使いやすかったです。

今回は、ありがとうございました。

中学3年生 中里敬亮（踊り）

私たち、崎山中学校が、大都会東京で、チャンココを披露することは、夢にも思っていませんでした。夏休みに入って、本格的に練習を始め、約1ヶ月間、一生懸命、練習を頑張った成果が東京では出せた実感しています。また、私は、舞台上5人で踊った「が」という踊りを覚えることに苦労しましたが、本番では、ベストの踊りをすることができました。さらに、私たち田舎っ子は、大都会東京の迫力に圧倒され、とても素晴らしい所だなあと思いました。移動が大変でしたが、東京でチャンココを披露し、観光もすることができたので幸せな3日間でした。今後も、運動会などで、チャンココを披露する機会があるのでもっと練習して、素晴らしい踊りをしたいと思います。

本当にありがとうございました。

中学3年生 中山大志（踊り）

僕は、中学1年の時からチャンココを始めました。まさか、3年間でチャンココを披露するため3回も全国大会に出場出来ると思ってもいなかったのが、本当に驚きました。2年生の時の大会では、3年生が自分たちを、踊りで引っ張ってくれていました。でも今回は、僕たちが3年生として、一学期の終わりあたりから、1年生への指導や、3年生の選抜メンバーが踊れる「が」という踊りを必死に頑張りました。「が」は、今大会に間に合うか心配でしたが無事に完成することができ、本番でも今まで以上の踊りができて、とてもうれしかったです。そして、お客さんがたくさん拍手をくれたり、スタッフさんが喜んでくれたりとても良かったです。このような経験ができたのも、大会側のスタッフのみなさん、ここまで指導してくださった先生方青年団の方々のおかげなので、本当に感謝しています。

次は、後輩たちが、自分たち以上のチャンココを披露できる事を応援したいと思います。本当にありがとうございました。

中学3年生 橋本雄介（大鉦）

チャンココの中で、ほくは大鉦をたたきました。練習の中で、一番難しかったのは、テンポのかわり目の部分です。青年団の方から、コツを習ったり、動画を見ながら練習をしました。お盆でも、青年団の方々といっしょに地区を回り技術を上げてきました。いよいよ

よ本番が迫ってきて、緊張が最高潮になった時に、女子の発表が終わり、スタートしました。1つ目の踊りが終わり、課題の2つ目の踊りがきました。この踊りは途中からテンポが速くなるとても難しい踊りで、課題にあげていました。序盤は、何とか、たたききることができました。後半も何とか、ミスを減らし、たたくことができました。演技が終わった後、会場から拍手が湧き起こった時には感動しました。インタビューの時、まさか、当てられるとは思わず、びっくりしたことも思い出です。このような素晴らしい祭りに参加できたことをとても嬉しく思います。

また、東京観光で印象に残っているのは雷門です。よくテレビで、見かける、景色が間近にあると思うと鳥肌が立ちました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

中学3年生 長谷川拓海（踊り）

今回、『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』九州沖縄ブロック代表として参加させていただきありがとうございます。

ぼくたちは、地域伝統の念仏おどりチャンココを、おどりました。毎日の練習をしっかりと、難しいおどりの一つ一つ覚えていきました。服装など、今回のために、一からわらとほでみのを作りました。

ぼくたちの住む長崎県五島市から、東京は、とても遠く、移動にも時間がかかりました。五島より東京の建物がとても多く、ビックリしました。

本番当日、とても大きな会場を見て僕は、本番がとてもきんちょうしてきました。リハーサルをしっかりとした時、周りの人たちの出し物を見ると、どれもすごい物ばかりで見入ってしまいました。入場が行われ人が多く見られました。

僕たちの番が来て僕はいっしょうけんめいおどりました。

終わったあとはとてもすがすがしい気持ちでやってよかったと思えるような時間でした。今回は、僕たちを招いていただき、ありがとうございました。

中学3年生 藤田睦稀（踊り）

この度は、『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』にご招待していただき、ありがとうございました。

僕は中1の時から「チャンココ」を踊っています。最初の円になって踊る「ザマ」も中1の頃は、全く踊れていませんでしたが、練習を積み重ねて中2になってやっと踊れるようになりました。中3になって「ガ」も練習するようになりました。回転も多く、難しいステップがたくさんありましたが何とかマスターすることができました。そして、本番がやってきました。キチンと踊れるか不安で足がガクガクでしたが、上手く踊りきれたので良かったです。

僕たちが住んでいる「崎山」はほんとに田舎なので、「東京」という大都会に行けて、本当に嬉しかったです。

これからは、運動会などで踊ることがあるので、そこでも東京の時を超えるような「チャンココ」を見せてやりたいと思います。

今回は、本当にありがとうございました。

中学3年生 道脇浩希（踊り）

僕たちは、東京でチャンココを発表すると分かり、最初は東京に行けるんだなぁと思いとてもワクワクしてました。しかし、九州・沖縄代表で踊るという緊張感もありました。そして、夏休み直前、本格的にチャンココの練習が始まりました。私たちは、チャンココの練習以外にも、勉強、部活、駅伝練習などを、両立しながら、頑張ってきました。本番の日、リハーサルでは、上手に踊ることができました。本番の時は、予想以上に観客がたくさん来場していて、僕はとても緊張しましたが、負けることなく、堂々と代表らしく踊ることができたのでうれしかったです。また、この大会で踊った事で、自身が持てるようになりました。9月は運動会があります。運動会では、地方の方に感謝して踊りたいです。

僕は、チャンココを通して、伝統を受け継ぐ大切さが分かりました。チャンココをしっかり受け継いで、がんばっていきたいです。

中学3年生 山田尊栄（踊り）

まず、『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』九州・沖縄ブロック代表としてご招待していただきありがとうございました。おかげで、良い思い出にもなったし、「チャンココ」を全国に広めることができました。

僕は、中学生になってからチャンココを始めました。最初は覚えることができませんでしたが、先輩や青年団の方々が教えて下さったので、踊れることができ、とても嬉しいです。今年の夏休みはこの日のために、一生懸命練習をしてきました。本番では失敗もなく、みんなで最後まで楽しく踊ることができました。

また、印象に残っているのが、他の学校の発表です。普段見られない様々な地域の文化などを見ることができ、とてもいい機会になりました。

そして、この大舞台で踊り、とても自信ができました。9月に行われる運動会では、大きな声と大きい動作で地域の人を盛り上げていきたいです。この度は本当にありがとうございました。

中学3年生 山中千聖（内容紹介発表）

『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』に、出させていただいて、ありがとうございました。

私は、チャンココの紹介はもちろん、五島の紹介もさせていただきました。私は東京に行ったのは人生初めてで、あのようなとても広い舞台に立ったときは、緊張して手が震えました。ですが、見に来て下さった方々がとても温かい目で見て下さったので、緊張もほ

ぐれ、思わず笑みがこぼれました。発表した際、一言一言言うたびにお客様達が拍手をして下さったので、嬉しかったし、楽しかったです。東京に参加させていただいて、本当に良かったなと思いました。これからももっとチャンココや五島のことなど、たくさん伝えていきたいです。

東京では、浅草を観光して、いろんなお店を見て回って、さらにお店の店員さんと仲良くなって、本当に楽しかったです。とても充実した時間を過ごすことができました。

中学3年生 横山恵美（内容紹介発表）

私は、『ぼくたちわたしたちのニッポンの祭り2018』に九州沖縄ブロックの代表として参加させていただきました。

本番までの練習期間中は、会場で見てもらう方々に五島の自慢やチャンココのことを知ってもらえるか、考えて練習しました。声のトーンを明るくし、にこやかな表情で舞台に立てるようにお互いにアドバイスを出し合いました。

本番当日は、4人みんなが元気なあいさつとはきはきとした発表をすることができ、最高のチャンココを披露することが出来ました。

発表しているときは、とても緊張しましたが、発表のあとにたくさんの拍手をしていただきとても嬉しかったです。

大きな舞台でチャンココの発表をしたことは私の一生の宝物になりました。

これからも、私たちは崎山の伝統芸能を次の世代へ受け継いでいきたいと思います。

本当にありがとうございました。